

日本聴覚障害学生高等教育支援ネットワーク（PEPNet-Japan）特別プロジェクト

2016年熊本地震により被災した大学へのT-TAC Captionによる遠隔情報保障支援

1 熊本地震と遠隔情報保障の開始までの経緯

- 4月14日 21時26分 M6.5 地震発生、16日午前1時25分 M7.3 地震発生
- 5月16日 九州ルーテル学院大学より PEPNet-Japan へ遠隔支援の利用について打診
- 6月16日 同志社大学が協力大学として決定
- 6月29日～ 遠隔支援開始（6月22日は大雨で当該学生が登校できず中止）

2 遠隔情報保障の運営方法

九州ルーテル学院大学で行われている授業音声を遠隔地に飛ばし、受信した音声を遠隔地でパソコン通訳（入力）し、その文字情報を、リアルタイムで現地の聴覚障がい学生が見て受講

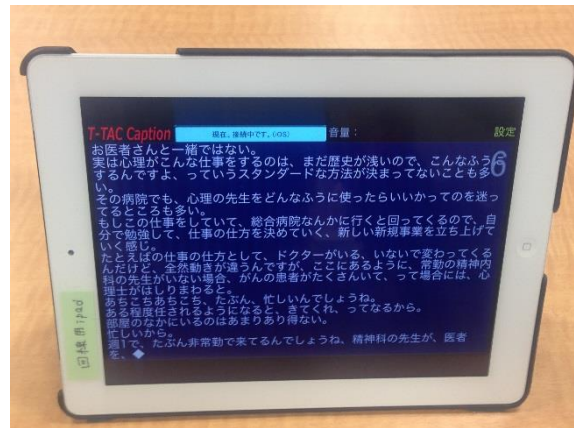
1) 対象科目名と協力大学

科目名	協力大学主担当	協力大学副担当	支援回数	※事前資料、教科書のページ等は、講義2日前までに伝達いただく
医療心理学	同志社大学	大阪教育大学	4回	
行動科学概論	東北福祉大学	宮城教育大学	6回	

2) 九州ルーテル学院大学（遠隔情報保障受信側）の様子

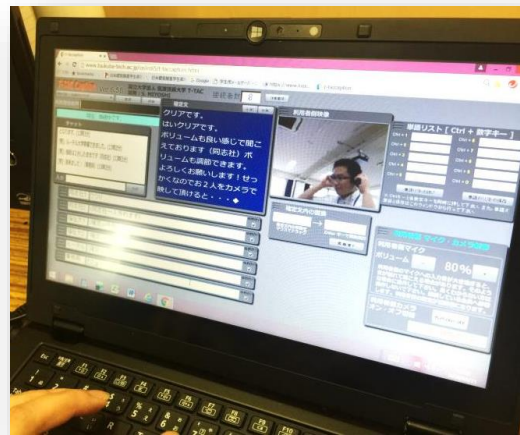


iPad と手話通訳との併用の様子



iPad の画面

3) 同志社大学（遠隔情報保障発信側）の様子



3 遠隔情報保障を利用された九州ルーテル学院大学の利用学生（障がい学生）さんの声

利用学生

- ・支援者、関係者の方々に感謝したいです。
- ・タイピングの速さに驚きました。
- ・支援者は黒板等が見えないので、授業者が遠隔支援を理解して、配慮して話すことが重要となることがわかりました。
- ・支援者と話し合う時間があるとよいと思いました。